

安保破棄ニュース

No. 565
2024. 5. 10

安保破棄・諸要求貫徹大阪実行委員会

〒五四三〇〇一四 大阪市天王寺区玉造元町一七一三
TEL 〇六一六七六一三三三三
FAX 〇六一六七六一三八三六
●Eメール ampo-osk@abeam.ocn.ne.jp
●ホームページ <http://www.ampo-osk.jp>

ふるさとを 戦場にはさせない！



滋賀県・
自衛隊饗庭野演習場
視察行動

去る4月15日(月)、私たち近畿2府4県の安保破棄実行委員会
は、滋賀県高島市の自衛隊饗庭野演習場への視察を行いました。
2022年12月に国家安全保障戦略など「安保3文書」が「戦後
安全保障政策の実践的な大転換を行う」として、岸田政権によって
閣議決定されて以降、タガが外れたように、あらゆる分野で軍事を
優先する大軍拡政治が進められている状況の中、自衛隊が急速に変
貌しています。

しかしこれは、1951年に日米安全保障条約が締結された当初
から、アメリカが日本に期待し求めていた自衛隊の役割を忠実に担
うべく変化しているものと言わねばなりません。

私たちはこの動きの中で、「強靱化計画」の名の下に全国の自衛
隊基地が進められ、近畿圏内各所の基地でも始められている、戦争
に備えての抗たん性・継戦性を整備・強化するための工事などの実
態を掴むため、今年から新たな取り組みとしてこの視察行動を始め
その第1回目として、饗庭野を訪れたも
のです。

当日は、各府県の安保破棄実行委員会
と地元であれば野平和運動連絡会から
12名が参加し、赤旗の記者も取材に来
られました。

近江今津駅前から、地元の皆さんが用
意してくださった車に分乗して先ずは陸
自の今津駐屯地に向かいましたが、普段
は閉められている鉄扉が開き、場内には



多くのテントが設置され、車両がたくさん並んでいるのを見ながら
演習場の周囲を走ると、フェンスを挟んで多くの民家が隣接してお
り、もし「有事」となれば、間違いなく多くの住民が犠牲にならざ
るを得ない実情に寒気を感じました。

そして、演習場の周りを走りながら確認できたのは、演習場その
ものは林などに囲まれた高所にあり、外からは全く見えないとい
うこと。

昼食の後は、あいば野平和運動連絡会事務局長の泉 勝男さんか
ら饗庭野の実態が語られ、広いようでも東西6〜7km、南北4〜5
kmと、矢臼別や富士の演習場と比べればはるかに狭い饗庭野では、
昨年も年間18万2000人の自衛隊員が参加して309日間もの
訓練が行われ、年間168日にのぼる実弾射撃訓練が行われたこと
などが詳しく紹介されました。

饗庭野では、訓練中に2015年以降の
6年間だけでも4回の事故が起こり、中
でも、こんな狭い場所での訓練は止めると私
たち近畿安保も申し入れていた、2021
年の18回目の日米共同訓練中にも120
mm迫撃砲の実弾が演習場外に着弾するとい
う重大事故を起こしています。



ところが、そんな饗庭野で、またしても日
米共同訓練が7月に実施されることが予想
されるため、4月26日にあいば野平和運
動連絡会と日本共産党滋賀県委員会が中止の申し入れを行い、5月
24日には、私たち近畿安保と共に近畿中部防衛局と自衛隊中部方
面隊へも中止申し入れを行います。

今回の日米共同訓練は、「安保3文書」の具体化、そして4月の日
米首脳会談合意を受けて、2021年以上に実践的な危険な訓練と
なることが予想されます。

今後行うこととなる抗議行動などへの、積極的な参加・協力を呼
びかけるものです。

戦争する国づくりを止め、日米安保条約廃棄を

6・23近畿のつどい

日時：2024年6月22日(土) 午後2時～4時
会場：国労大阪会館・第2小会議室
講演：「日米安保の現在地

～わたしたちはいかにたたかうか～

講師：林 竜二郎さん

(安保破棄中央実行委員会事務局次長
・日本共産党基地対策委員)

☆ZOOMアプリを使用しておのオンライン参加も
できます。オンライン参加希望の方は、安保破棄実行
委員会までメールでお申し込みください。その際、お
名前、連絡のつく電話番号を記載してください。折り
返し、ZOOMID とパスワードをご連絡いたします。締
め切りは、6月19日(水)とさせていただきます。

沖縄のたたかいから学び、 連帯してたたかおう！



4月4日～6日、安保破棄中央実行委員会と全国革新懇共催で、沖縄連帯行動が取り組まれました。

全国から30人の参加があり、大阪からは10人が参加しました。沖縄県統一連事務局長の瀬長和男さんのガイドで、那覇軍港の移設が計画されている浦添の埋め立て予定地や、在日米軍基地の返還後の実態、嘉手納基地の視察などを行いました。また、うるま市のホワイトビーチの視察、ミサイル配備が進められている勝連分屯地や、住宅街や青少年施設に隣接する自衛隊訓練場の建設が狙われている予定地の視察も行い、地元の伊盛市議から反対運動の状況なども含めてお話を伺いました。(後日、保革の立場を超えた地域ぐるみの反対運動によって、防衛省にこの建設を断念させました。)

辺野古新基地建設の現場では、ゲート前座り込みに参加し、抗議

諸団体の取り組み、当面の予定など

- 5月
- 13日(月) 自衛隊八尾駐屯地・八尾飛行場視察行動 近畿安保
 - 15日(水) 大阪安保常任幹事会 10:00～ 大阪安保事務所2階
 - 23日(木) 大阪安保23宣伝行動 12:00～ 淀屋橋
原発0の会・大阪総会 18:30～ 大阪民医連会議室
 - 24日(金) 近畿中部防衛局交渉 13:30～
自衛隊中部方面隊申し入れ行動 16:00～
 - 27日(月) 近畿安保合同会議 15:00～ オンライン
- 6月
- 5日(水)～7日(金) 安保破棄中央実行委員会呼びかけ、
沖縄県議選支援行動
 - 16日(日) 沖縄県議会議員選挙投票日
 - 19日(水) 大阪安保常任幹事会 10:00～ 大阪安保事務所2階
 - 22日(土) 大阪安保23宣伝行動 12:00～ JR天王寺駅東口
6・23近畿のつどい 14:00～ 国労大阪会館

23 宣伝行動

4月の安保破棄大阪実行委員会23定例宣伝行動を4月23日の昼12時からいつもと同じく大阪市庁舎近くの淀屋橋で行いました。今回で通算423回目の23行動となります。雨模様の天気でしたが、宣伝中は雨も降らず、ビラ配布、プラスターをもったスタンディング「代執行による辺野古新基地建設工事の中止と普天間基地の無条件撤去を求める請願」署名協力呼びかけ、弁士による訴えを行いました。11人の参加でした。弁士は、平和遺族会、大阪憲法会議・共同センター、大教組、大阪新婦人、日本共産党から出いただきました。

弁士からは、日米首脳会談の共同声明に対する批判、自民党の裏金問題、辺野古新基地建設のための埋め立てに遺骨交じりの土を使うことに対する抗議、中学校教科書検定に関してなど、道行く人たちに訴えかけました。

宣伝終了後、片づけをしてところに、一人の男性が来られて、「署名に協力したい」と、辺野古署名に協力してくれました。

5月の23宣伝行動は、5月23日(木)です。



船「平和丸」に乗船し、海から建設工事の状況を視察、抗議の声を上げました。

参加者からは、「私たちが沖縄に行つて思うことは日本中の大半の米軍基地が沖縄に集中していることを目のあたりにし、日米安保条約の中身を肌で感じていることでしたが、それだけにどまらず自衛隊も一体になって南西諸島の軍事一体化を肌身で感じたことです」などの感想が寄せられました。

瀬長さんが今回、幾度となく言われていた「米軍基地の面積がたとえ減ったとしても、軍事訓練の規模、戦闘機の飛行回数や危険性などが減らない限り、負担軽減には全くならない」ということを、現地に行くことで実感しました。また、辺野古新基地建設強行の中で、どれだけの自然破壊が進められているのかということも目の当たりにしました。

「改めて、『戦争する国づくり』反対の運動が重要になっていることを思う三日間でした」「辺野古新基地建設を完全に止め、普天間基地を撤去するためには、政権を変えなければいけないと強く思いました。」などの感想が寄せられました。

6月に行われる、沖縄県議会議員選挙は、これからの沖縄のたたかい、全国の戦争する国づくりを止めるたたかいにとって、大変重要な選挙となります。安保破棄実行委員会としても、玉城デニー知事を支える議席の過半数を勝ち取るための支援を、沖縄県統一連の要請に応じて行います。